

令和元年 秋の公民館講座 開講記念講演会

# 古市・百舌鳥古墳群の 倭国王墓

「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録された。古墳時代は、倭国が形成された時代であり、前方後円墳をはじめとする古墳により身分秩序を表示していた。古市・百舌鳥古墳群は、4世紀末に新たに河内を本拠地とする河内政権が成立し、この時期の倭国王らの残した5世紀代を中心とする古墳群である。古市・百舌鳥古墳群にある倭国王墓の被葬者について、考えるところを述べてみることにする。

令和元年 9月28日 (土)  
午後2時～3時30分



大仙古墳(ゲーグルより)

講師



大阪市立大学大学院文学研究科  
教授 岸本直文

略歴

1964年生まれ  
1991年 京都大学大学院文学研究科博士課程中退  
1991年 奈良国立文化財研究所  
1996年 文化庁  
2000年 大阪市立大学文学部  
現在、大阪市立大学大学院文学研究科 教授  
著書に『箸墓古墳』(共著)他多数

芦屋市民センター  
401室

入場無料・申し込み不要  
(先着100名・直接会場にお越し下さい)

主催 芦屋市立公民館  
☎35-0700